This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT.
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problems Mailbox.

⑩日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

四公開特許公報(A)

昭60-199441

@int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和60年(1985)10月8日

A 61 B 10/00 G 01 N 33/48 103

7033-4C E-8305-2G

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

❷発明の名称 スワブと組み合わされる培養物採取容器

②特 願 昭60-7637

20出 願 昭60(1985)1月21日

砲発 明 者 カール ダブリユ ゥ

アメリカ合衆国 マサチユーセツツ州 ホリストン ハイ

ランドストリート 91

砂発 明 者 ジョン エル ウッド

オルター

レイテツド

アメリカ合衆国 マサチユーセツツ州 ホブキントン ワ

レン ロード 2

⑩出 願 人 キツデイ インコーポ

アメリカ合衆国 ニユージヤージイ州 サドル ブルツク

ウエストプラザ ツウ パーク 80

砂代 理 人 弁理士 山本 俊夫

明相 🚊

1. 発明の名称

スワプと組み合わされる培養物採取容器

2. 特許請求の範囲

- (1) 密封された第1の室を区面する破れ易い関係を構えている第1のコンテナと、前記第1の室に収容された培養物保存媒体と、前記第1の室に収容された第2の室を有する第2のコンテナと、前配第2の室に収容されたのである。 る第2のコンテナと、前配第2の室に収容されかつ前配隔壁に開接して配置されたスワブへッドを輸力的配隔と、第1の室において前配隔壁を破り前によりである。 第1の室へ弾入せしめる輪移動手及と、前別2の室を密封する性とを具備することを特徴とする。 スワブと組み合わされる追貨物探取容器。
- (2) 的記第2のコンテナが前足展型により 前額された一線部で前記第1のコンテナと一体的 に構成され、前記第2のコンテナの他観部が前記 栓により閉鎖される特許語求の範囲(1)に記載 のスワブと組み合わされる珀豊物課取容器。

- (3) 前記輪移助手段が前配円筒状の第2の コンテナの網部に設けたねじ軸に繋合されるねじ 穴を備えた前記役と前記輪とを一体的に構成して なる特許請求の範囲(1)に記載のスワアと組み 合わされる組養物採取容器
- 3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は2種の内容物を収容する容器、詳しく は医療用培養物を採取し保存するために使用する 容器に関するものである。

【従来の技術】

医学的診断のためにしば患者から培養物を 探取することが要求される。一般に、このような 培養物は吸替材料からなるスワブをもつて患者の 所定の体部を払拭することにより採取され、分析 するために試験研究所へ送られる。正確な分析結 果を得るためには、培養物は原形の状態で促 れなければなせない。このような理由から、培養 物を保持するスワブは培養物を採取優研究所へ回 されるまでの間、適当な保存溶液に慢されている。

_ 1 _

このような保存溶液は一般に迫差物保存媒体とし て広く知られている。

従来、培養物保存媒体にスワブとともに培養物 を収容保存するために、種々の容器が提案されて いる。一般に、スワブはキヤツブを構えており、 これを容器の内部へ挿入すると、的記容器の顔口 が前記キャツアにより閉鎖され、かつ完全にシー ルされるようになつている。そして、スワブは分 析のために取り出されるまで、培養物保存媒体で 異された容器の内部に密封保存される。

従来公知の容器の1つとして、店隻物保存媒体 を充塡されたガラスの折れ邸を備えた可提性のア ラスチツクチューブからなるものがある。スワブ を挿入する際に、プラスチツクチューブを折り曲 げてガラスの折れ部を破すと培養物保存媒体が放 出される。このような従来の培養物を保持するス ワブの容器は横つかの欠点を有する。例えば、あ る容器では採取された培養物を無菌状態に維持す ることが困難である。また、ある容器では培養物 保存媒体の中へ巻された培養物を保存するために、

-3-

入せしめる軸移動手段と、前配第2の室を密封す る栓とを貝儲したものである。

(作用)

スワプ23はキャツプ18と一体をなす帖25 の先嫁にスクプヘツド24を借えている。このス ワプヘツド24を培養物保存媒体31が収容され た第1のコンテナ12の内部へ浸漬する場合、キ ヤツブ18を第2のコンテナ14のねじ触22へ 強く螺合すると、培養物が付着されたスワプヘツ ド24により履墜16が破られ、迫隻物保存媒体 31の内部へ浸漬される。ねじ輪22の蝦蛄には 環状突条からなるストツパ29が鍛えられ、キャ ツブ18を強く媒合すると、このストツパ29が キャツプ18のねじ穴21の内部へ強く押し込ま れ、第2のコンテナ14の増部が密封される。

〔発明の実施例〕

本発明を実施例に基づいて説明する。第1~3 図は本発明によるスワプと組み合わされる培養物 球取容器を示す。容器11は第1の至13を区面 する第1のコンテナ12と、第2の童15を区面 特殊な環境のもとに置かれ、分析するまでの間に、 培養物が損傷されるという問題がある。このよう な培養物保存媒体を充塡された壊れ島いガラスの 折れ部を購えた容器は、使用中に唱れるというガ ラスのもつ遊け聞い欠点がある。

[発明が解決しようとする問題点]

本発明の目的は上述の問題に脳み、ガラスの折 れ邸をもたない構造が簡単で無菌状態でスワブを 培養物保存媒体の内部へ保存し得るスワブと組み 合わされる培養物採取容器を提供することにある。 【問題点を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明の構成は密 封された第1の堂を区画する破れ易い模型を構え ている第1のコンテナと、前記第1の室に収容さ れた培養物保存媒体と、前記開璧により前記第1 の室から区画された第2の室を有する第2のコン テナと、前記第2の室に収容されかつ前記周壁に 隣接して配置されたスワブヘツドを存する軸と、 第2の室において前記軸を軸方内に移動させ前記 スワプヘツドを前記隔壁を破り前記第1の室へ抑

する第2のコンテナ14とを購えている。第1の 第13と第2の第15を区面する限財16が数1 のコンテナ12に備えられる。第2、3回に示す ように、第2のコンテナ14は網長い円筒状ハウ ジングからなり、この一般部が展覧16により閉 値され、閉口された他樹部17はキャツア18に より閉鎖される。キャツプ18はねじ穴21を雌 えており、第2のコンテナ14のねじ輪22と螺 合するようになつている。 第2の空15には軸2 5 とスクブヘツド24を備えたスクブ23が収容 される。スワアヘッド24は輪25の一幅に支持 され、隔壁16に隣接して配置される。

第4窓に示すように、スワプヘツド24には複 欧条の環状突条27が互いに触方向に間隔を存す る備えられている。好ましくは、スワブヘツド2 4 と突条27とは一体に硬質のプラスチツクから 成形され、突条27の縁部に拾つて凹凸のある表 面が備えられる。スワブ23の帕25の雄郎28 はねじ穴を有するキャツブ28に支持され、好ま しくはキャツア28と一体に成形される。

第2のコンテナ14の外面にはねじ触22が一体に形成され、かつこのねじ輪22の環部に環状 突条からなるストツパ29が一体に形成される。

容器11を製造する場合、第1のコンテナ12、 隔壁16および第2のコンテナ14は好ましくは 一体的にプラスチックから成形され、第1のコン テナ12の増配開口30は開放される。そして、 第1の変13に選当な栄養物すなわち培養物保存 媒体31が開口30から充填され、その後に開口 30が例えば幾圧者などの手段により完全に密封 される。

次いで、第2の空15へスワブ23のスワブへ ツド24を挿入し、キャップ18をコンテナ14 のねじ軸22に場合する。キャップ18がストッ パ29に達した時、第2のコンテナ14とキャッ プ18との軸方向の位置は、ちようピスワブ23 のスワブヘッド24が開墾16に接近した状態に なる。こうして、キャップ18とストッパ29と の係合により所定の組付け位置が得られたことを 外部から視路できるとともに、これにより隔壁1

- 7 -

へ長度される。

ねじ穴21とねじ軸22との係合部において、ストツパ29はキャツプ18のねじ穴21によく係合し、外部から第2の至15へ韓間などが浸入するのを完全に防止する。こうして、採取された培養もが第1の至13の内部に密封された状態で、容器11が試験分析のために研究所へ輸送される。

知要物が分析に供される場合、キャツプ18は 再び第2のコンテナ14からねじ戻して外される。 スワブ23のスワブヘッド24に保持されかつ始 豊物保存媒体31により保存されていた培養物は 周知の試験契鎖により分析に供される。

本発明は上述の実施例に限定されるものではな く、上述の説明に明らかにしたように、種々の想 様で本発明が実施し得ることは言うまでもない。 [発明の効果]

(1) 本発明によれば、上述のように第2のコンテナ14と隔壁16が第1の第1のコンテナ1 2と一体的に成形され、第1のコンテナ12は開口30から培養物保存媒体31を充塡された後で 6の破損が防止される。

次に、本発明によるスワブと組み合わされた名 養物採取容器の作動について説明する。容器11 が取者の娘郎の所定の体部から培養物を採取する。 ために用いられる場合、キャツブ18は第2のコンテナ14からねじ戻され、スワブ23が第2の 室15から取り出される。突条27のザラザラした緑部は患者の所定の体部から必要とする培養や を引養き採取する。培養物の採取後スワブ23は 第2の室15へ戻され、キャツブ18が第2のコンテナ14のねじ輸22へ螺合される。

キャツブ18の嬢がストツパ29に保合した所で、さらに大きなトルクをキツヤブ18に加えれば、キャツブ18がストツパ29を乗り越え、 第2のコンテナ14がキャツブ18のねじ穴21の内部へ押し込まれる。このキャツブ18のねじ 込み力は、スワブ23のスワブへツド24をして 限壁16を突き破り、第1の至13の内部へ突出させる。その結果、スワブへツド24の培養物が第1のコンテナ12の培養物保存媒体31の内部

-8-

関口30を密封されるので、構造が簡単であり、 低コストで製造することができる。

(2) 第2のコンテナ14は長い円筒状のハウジングから構成され、この雑部は開墾16により間銀される一方、開口雑部17は住すなわちまヤツブ18により間銀される。このキャツブ18はスワブ23の輪25と一体に構成され、この輪25の先始に絡後物を球取するスワブへツド24が備えられているので、輪25を第2のコンテナ14の内部へ挿入するとともに、キャツブ18第2のコンテナ14のねじ輪22へ強く無合することにより、スワブへツド24が開壁16に当たり、エルを突き破り、第1のコンテナの項技物保存媒体31へ提演されることとなり、操作が非常に関甲である。

(3) スワプ23と一体にキャップ18が構成され、このキャップ18が第2のコンテナ14の もじ軸22へ舞合されるので、キャップ18をね じ込むだけでスワブ23のスワブヘッド24によ り第1のコンテナ12の展覧16を突き破る軸移 助手段が簡単に領成できる。

(4) 理状突条からなるストツバ29はキャツプ18と第2のコンテナ14との相対的軸方内の位置を設定する。すなわち、展壁16とスワブ23のスワブヘッド24との位置を決める役目を果し、使用前に開壁16が突き破られるのを防止する。また、スワブ23により培養物を採取した後に、強くキャツブ18をねじ軸22におじ込めば、スワブヘッド24により隔壁16が突き破られ、
出表物が培養物保存媒体31の内部に表演保存されることとなり、操作が容易であり、外部から雑節が換入する品れもない。

(5) スワア 23 のスワアヘッド 24 は罐のように凹凸のある裏面を備えているので、従来の単なる吸替材からなるスワブでは容易に得られないような培養物の採取にも迫している。

4. 因面の簡単な説明

第1因は本発明に係るスワブと組み合わされる 培養物採取容器の正面図、第2因は第1因に輸2 - 2による平面断面図、第3因は與スワブと組み 合わされる培養物採取容器の使用状態を示す平面 断面図、第4図は向スワブと組み合わされる培養 物採取容器のスワブのスワブヘッドを拡大して示 す正面図である。

11:容器 12:第1のコンテナ 13:第1の至 14:第2のコンテナ 15:第2の室 16:届壁 17:関口蝦邸 18:キャップ 21:ねじ穴 22:ねじ軸 23:スワブ 24:スワブヘッド 25:軸 27:突条 28:蝦耶 29:ストッパ 30:開口 31:過量 物保存媒体

特許出職人 キツデイ インコーポレイテツド 代理人 弁理士 山本俊夫

-11-



